

平成29年度 事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本翻訳者協会

1 事業の成果

活動内容・研修会の頻度は前年度とあまり変わらなかったが、地域活動は国外のものも含め定着した。会員数は昨年度に比べ約10%減となった(平成30年3月31日現在：約700人)。研修会・エッセー集出版無料配布その他の非営利活動を通し、翻訳に対する一般社会の認識・理解も或る程度得られ、翻訳者・通訳者の立場、仕事環境改善されつつある。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
分野別分科会	分野別分科会は前年度に引き続き、法律翻訳、製菓翻訳、通訳、特許翻訳、エンターテインメント翻訳分科会の活動が年間を通して開催され、翻訳ツール分科会はPre-IJETで研修会およびワークショップが実施された。JATTIP（自主出版）は活動休止中。	各分科会とも年約2～3回研修会・ワークショップを開催。	東京、関西、仙台。 オンラインでの研修会は全国・海外含む	各分科会の実行委員は4名から6名。	会員及び一般。 参加人数は延べ約400人以上。 オンラインによるものは会員に限定。	690
地域活動委員会	東京活動分科会、関西地区活動委員会、東北地区活動委員会、米国中西部活動委員会は翻訳に関係する種々のトピックに沿い、ワークショップ、研修会を実施。ネットワークングの機会も提供。	東京地区活動委員会はほぼ毎月研修会又は交流の機会を持った。東北地区活動委員会は3回、米国中西部活動委員会は5回、イベントを開催。関西分科会は活動なし。	東京、関西地区、仙台、米国オハイオ州	各地域活動委員は平均6名。	会員及び一般。 研修会参加人数は延べ約200人。 オンラインによるものは会員に限定。	1253
翻訳コンテスト	翻訳者養成の目的で、新人翻訳者を対象に、会員、非会員を問わず、広く募集する。 英日翻訳部門で5名、日英翻訳部門で5名を受賞者として選出。選出の過程で応募者に翻訳の添削、意見・提案書を提供。	平成29年10月～平成30年3月	全国・海外	審査員も含み、合計13名	実務翻訳経験3年未満の会員および一般応募者：73名 英日：40名 日英：33名	472
eJuku	実務翻訳者にオンラインで1,2ヶ月間翻訳ワークショップを提供。平成29年度は、5～6月と翌年3月～4月に実施。	平成29年5月～6月（2グループ） 平成30年3月～4月（1グループ）	全国・海外	3名	会員に限定。 1グループ8～9名。	0

エッセー集作成・配布	「翻訳者の目線」を毎年出版。会員、企業、教育機関に無料配布。 2500部発行。	平成29年5月～平成29年11月	全国・海外	2名	会員、一般、教育機関。 約2200部配布。	604
英日・日英国際翻訳会議 (IJET)	英日・日英翻訳者・通訳者のために情報提供、ワークショップ、研修会を開催。国際会議前に、プレイベントを開催。 平成29年度の第28回会議は、オハイオ州コロンバスのオハイオ州立大学で開催。 平成30年度の第29回会議の準備は平成29年度初め頃から開始。	平成29年4月～平成30年3月。 第28回会議：平成29年4月8～9日。 第29回会議のプレイベント：平成29年11月、平成30年1月及び3月。	第28回会議：米国オハイオ州コロンバスで開催。 第29回会議：プレイベントは福岡、東京、奈良で開催。本大会は平成30年6月に大阪開催予定。	IJET28実行委員：10名 プラス 当日ボランティア 約20名	会員及び一般。 参加者：163名 (基調講演も含む) プレイベント 参加者：35名	4645
ウェブサイト開発・運営管理	ウェブサイトを運営管理。ニュース、イベント告知、ブログ、JATディレトリ、フォーラム、求人欄など。会員以外への情報提供のために各種SNSも活用。 平成28年度にIJETウェブサイトのアップグレードを実施し、ウェブサイト内での電子商取引システムを開発。平成29年度には、JATウェブサイトでの会費支払い用にシステムを拡張。	通年	全国・海外	16名	会員及び一般	2650
外部団体との交流協力	JTF (日本翻訳連盟) の翻訳祭で1セッションを担当、講師及び情報を提供。 ATA (米国翻訳者協会) カンファレンスの日本語部 (JLD) のサイドイベントを後援。 ISO国内委員会に代表を派遣。日本規格協会JRCAに代表を派遣。 「通訳・翻訳ジャーナル」にリレーエッセーを連載。 FIT (国際翻訳者連盟) の会員として協力支援。	通年 ATAカンファレンスは10月。 翻訳祭は11月。	東京	4名	不特定多数	0

(2) その他の事業 (なし)